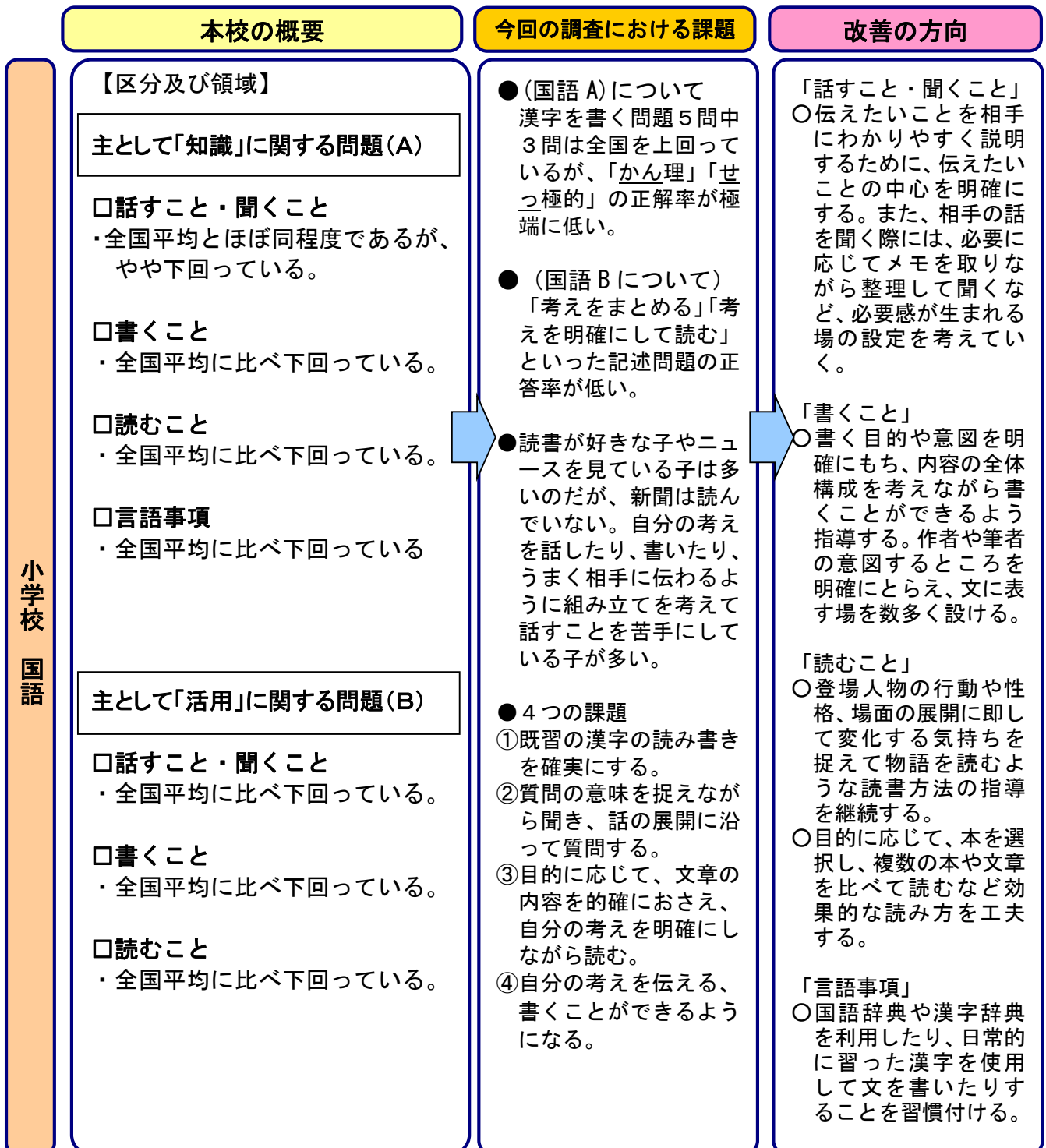


平成30年度全国学力・学習状況調査の結果及び改善策について

晩秋の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、保護者の皆様には日頃から本校の教育に深いご理解と温かいご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、全国、北海道、札幌市の『平成30年度全国学力・学習状況調査』の結果につきましては、すでに新聞報道などで公表されており、皆様も目にされたことと思います。個人票につきましては、6年生各家庭へ9月6日に配付させていただきました。

下記のように、本校の調査の成果と課題を改善の方向とともにホームページに掲載いたしましたので、ご一読願います。



小学校
国語

本校の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

□数と計算

・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

□量と測定

・全国平均に比べ下回っている。

□図形

・全国平均に比べ下回っている。

□数量関係

・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

□数と計算

・全国平均に比べ下回っている。

□量と測定

・全国平均に比べ下回っている。

□図形

・全国平均に比べ下回っている。

□数量関係

・全国平均に比べ下回っている。

今回の調査における課題

●（算数A）について
小数の除法の意味が理解できていない。分度器を用いて 180° より大きい角を求めることができていない。

●（算数B）について
角の大きさ、グラフの読み取り等ができていない。全体的に記述問題の正答率が低い。

●算数は大切だと思っている子が90%、学習内容がよく分かる子が80%いるのだが、算数が好きだという子は58%しかいない。

●4つの課題

- ①問題を解く時、もっと簡単に解く方法がないか考える。
- ②公式やきまりを習う時、そのわけを理解するようにしている。
- ③問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。
- ④あきらめないで解決策を考える事に努める。

改善の方向

「数と計算」

○繰り返しの練習を大切に、計算力の更なる習熟を目指した指導を図る。

「量と測定」

○学習の中から見出した考えや知識を、条件を変更した場合にも活用して、発展的に考察する学習の充実を今後も図っていく。

「図形」

○日常生活の事象の解決に、既習の知識・技能や図形の性質を活用して処理したり判断したりする学習の充実を図る。

「数量関係」

○問題解決に必要な情報（数量・表・グラフなど）を整理して、筋道立てて考え、**言葉や式を使って説明**することができるようにする。
★全体的に個別指導、習熟度別学習等により、苦手な子、理解できていない子の支援を強化する。

小学校
算数

【区分及び領域】

□物質

・全国平均に比べ下回っている。

□エネルギー

・全国平均に比べ下回っている。

□生命

・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

□地域

・全国平均に比べ下回っている。

●堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解していない。

●電流の流れ、乾電池のつなぎ方や回路について理解できていない。

●物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かした食塩水に適用できていない。

○自然の事物・事象に適用させて説明する場面を設定したり、科学的な言葉や概念を理解させる指導を充実させる。

○理科の勉強が好き、よく分かるという子が90%近くいる点を大切に、興味・関心を向上させる授業づくりに努める。

小学校
理科